

新宮山彦ぐるーぷ第1821回

持経宿改築 外壁トタン交換・東外壁塗装作業など

◇実施日：平成27年6月29日(月)～7月01日(水)

◇参加者：木下嘉彦棟梁、大工；浦東 進、中村良也の3名は2

泊3日。山上皓一郎、橋本 梓。の2名は1泊2日。

29日帰り；畑林秀味、梶野照雄の2名 計7名

6月29日(月) 晴れのち曇り

9時10分に白谷林道ゲートを通過する。間伐材集積場所を過ぎ、しばらく走ると前方に軽トラが見えてくる。新宮組に追いついた形となった。

9時40分、持経宿に着くと、休む間もなく直ぐトタンを剥がしにかかる。すでに殆どの傘釘が抜かれているので、全て取り除くのに時間はかからなかった。下地の薄いベニヤ板も、まるで紙のように手で剥がされ、新しくなった内壁が外からもよく見えるようになった。



揃って到着



トタンを剥がす



紙のようなベニヤ板

剥がされたトタン板やベニヤ板の処理を畑林、橋本、山上の3氏に任せ、東側の外壁塗装に取りかかる。

新たに購入した塗料を塗ってみたが、色が薄いので、玄関前の柱を塗った塗料で全面を塗装することにした。新しい塗料は内壁で使用する。

12時となり、南側に窓の取り付けられた小屋内で昼食とした。



色が薄かった



柱と同色で塗装



窓のできた小屋内で

午後、大工さん3人は外壁の下地作り、橋本さんはベニヤ廃材の焼却、畑林さんは廃材の整理と移動、山上さんは夕食の準備など、梶野は塗装の続き、とそれぞれの作業を行った。

14時ごろ、縦走者が1名通過、山上さんが対応して下さる。行仙宿で宿泊予定だそうだ。

15時に休憩。山上さんがコーヒーを入れてくださる。休憩を予測して、事前にお湯を沸かして準備して下さった山上さんに感謝。

15時30分、畑林さんが下山。大工さんは西側に木目調のプリント鋼板を打ち付ける作業を始める。棟梁は明日の雨を予想して、面積の広い西側を今日中に終わらせる考えのようだ。



畑林さん下山



外壁の下地作り



プリント鋼板の取り付け

16時少し前、そろそろ塗装を終わろうとしていた時、熟年ご夫婦が小屋前を南下してくる。また山上さんが対応される。池郷ゲートに車を置いて、嫁越峠まで行って来たそうだ。朝は工事開始前に通過しているが、この時間はまだ作業中と思われ、作業の終わる17時ごろに工事現場を通過するように勧め、コーヒーを入れてしばらく休憩してもらう。

16時30分、塗装作業を切り上げ、お堂裏に積まれたベニヤ廃材の処理に当たる。一枚の状態ではずされたベニヤ板が10枚ほどあり、大きくて移動しづらいので、小さく切断することにした。発電機を動かし、ディスクグラインダーに付けた丸ノコで切っていくのだが、足場が不安定なので、慎重に行った。

17時を過ぎても棟梁たちの作業は続いている。小屋内では山上さんが囲炉裏に炭火をおこして、浦東さんのアマゴを焼く準備中。

18時になって棟梁たちの作業がようやく終了。西側の外壁が新しくなった。

18時15分から夕食となったが、鍋料理で、まだ少し時間がかりそうなので、アマゴの塩焼きをお土産にいただいで下山した。棟梁から「貼り替えた床板も塗装せよ」とのお達しがあった。内壁と床を合わせると相当な面積になる。一人で塗るのはしんどいし時間もかかるので、応援をお願いしたい。



池郷ゲートからの登山者



アマゴ塩焼き



29日参加者撮影

行動タイム

6月29日(月)

堺6:00→9:10 白谷林道ゲート→9:40 持経宿→12:00 昼食 12:40
↓15:00 休憩↓持経宿 18:30→十津川経由→22:15 堺

(記 梶野)